

## 品川区の自転車利用における課題

区分	項目	現況整理・分析結果、現地調査結果	アンケート調査結果	課題
交通安全環境	1) 交通事故について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車関与事故は増加傾向</li> <li>・高齢者の自転車事故が増加</li> <li>・フードデリバリーサービスの普及に伴い、業務用自転車等による自転車事故が増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8割以上の区民が自転車に対して危険を感じた経験あり</li> </ul>	<p><b>ハード施策による事故の抑制</b> ○事故危険箇所等における交通安全対策の推進が必要</p>
	2) ルール・マナーについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区では自転車安全教育、啓発活動等を実施</li> <li>・「あおり運転」に対する罰則が創設（道路交通法改正）</li> <li>・全年齢層におけるヘルメット着用が努力義務化（道路交通法改正）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーアンサーの約6割は自転車のルール・マナーの悪さ・改善に関する指摘</li> <li>・区民の約1/4が「自転車の歩道通行時の条件」を知らない（特に若年層）</li> <li>・上記条件を知っていても遵守していない人は15%</li> <li>・区民の10～17%が「車道左側通行の原則」、「踏切や止まれでの一時停止」を知っていても遵守していない（特に若年層）</li> <li>・自転車安全教育の受講経験は高齢者ほど少ない</li> </ul>	<p><b>ソフト施策による事故の抑制</b> ○交通安全教育・啓発活動の推進が必要</p> <p><b>自転車利用のルール・マナーの周知徹底</b> ○交通安全教育、各種啓蒙活動等の推進が必要 ○新たな法改正等の周知・徹底が必要</p>
	3) 保険について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区では区民交通傷害保険を実施</li> <li>・自転車利用者等への自転車損害賠償保険等への加入が義務化（都条例改正）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車賠償責任保険への加入率は36%であり、特に若い世代での加入率が低い</li> </ul>	<p><b>自転車損害賠償保険の周知、加入促進</b> ○自転車利用者、自転車を使用する事業者の保険加入促進が必要</p>
自転車駐輪環境	1) 買物等自転車について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業機能が集積する駅周辺で放置自転車が多い（武蔵小山駅、大井町駅、五反田駅等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ前後で身の回りの買物頻度に大きな差はない</li> <li>・放置自転車は、業務、身の回りの買物、通院、外食目的（通勤通学以外）が多い</li> <li>・自転車の放置理由は「短時間駐輪だから」、「駐輪場が目的地から離れているから」が多い</li> <li>・今後実施すべき自転車施策で「鉄道駅や商店の周辺における駐輪場の整備」（44%）が第2位</li> </ul>	<p><b>買物等短時間駐輪への対応</b> ○買物等の需要に対応した駐輪スペースの確保が必要</p>
	2) 駐輪場の利用状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅から離れると、駐輪場の利用率は低下</li> <li>・コロナ禍により、駐輪場利用者（駅利用）が減少</li> </ul>	-	<p><b>駐輪場の運用方法の改善</b> ○車種に対応した駐輪スペースの再配分が必要 ○料金体系の見直しによるインセンティブ付与が必要 ○需要特性に応じた駐輪場の運用方法の改善が必要</p>
	3) 利用者・利用形態のバランスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の駐輪場は、区外住民の利用も多い</li> <li>・区民優先制導入、定期・当日利用のバランスの見直しなどを実施</li> <li>・定期利用枠に余裕はないが、実際の定期利用率は低い</li> </ul>	-	<p><b>大型自転車への対応</b> ○車種に対応した駐輪スペースの確保が必要</p>
	4) 大型自転車について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区では大型自転車に対応するため、設置間隔の拡大、平置きスペースの確保などを順次実施</li> <li>・上記取り組みによっても、大型自転車専用スペースは満車状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電動アシスト自転車、チャイルドシート付電動アシスト自転車利用者の半数以上が、「駐輪場の収容台数」や「駐輪スペース」に対して『不満』と回答</li> </ul>	<p><b>駐輪場の利便性、快適性の向上</b> ○駐輪場の利用環境の改善が必要</p>
	5) 駐輪場の設備について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古い駐輪場など、利用者の満足度が低い駐輪場が存在（R3駐輪場アンケート）</li> </ul>	-	<p><b>放置自転車の排除</b> ○歩行等の障害となる放置自転車の排除が必要 ○利用しやすい駐輪環境の確保が必要</p>
	6) 放置自転車について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の放置自転車の撤去台数は約8,400台</li> <li>・武蔵小山駅、大井町駅、五反田駅等の放置自転車が多い</li> <li>・バリアフリーやUで充実したら良いと思うことは「歩道や道路に障害物がなく、歩きやすいこと」が第1位（H29地域福祉アンケート）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物、外食目的での放置自転車の割合が高い</li> </ul>	

区分	項目	現況整理・分析結果、現地調査結果	アンケート調査結果	課題
自転車走行環境	1) 自転車通行空間について	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な施設が区内全域に分布</li> <li>ほとんどの国道、都道で自転車通行空間整備が計画され、隣接区でも自転車ネットワーク計画が策定済み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車で利用する区道のルートは東西方向が多い</li> <li>自転車通行空間の整備箇所に対する『不満』（45%）は半数近い</li> <li>自転車に対する危険は、歩行中における指摘が最も多い（特に高齢者）</li> <li>自転車走行中に感じる危険は、「道路が狭い」（27%）、「路上駐車が多い」（25%）、「歩行者が多い」（24%）が多い</li> <li>今後実施すべき自転車施策で「自転車が安全・快適に走行できる自転車通行空間の整備」（49%）が第1位</li> </ul>	<p><b>自転車ネットワークの整備推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全で快適な自転車利用ネットワークの形成が必要</li> <li>自転車通行空間における路上駐車の排除が必要</li> </ul>
	2) 道路状況と自転車通行位置について	<ul style="list-style-type: none"> <li>細街路が多いエリアが存在</li> <li>細街路における事故が増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道がある道路では、若い世代ほど車道を通り、高齢者は歩道を通る傾向</li> </ul>	<p><b>地域と共存した自転車利用／抑制策の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特性に応じた自転車利用／抑制等の検討が必要</li> </ul>
	3) 商店街について	<ul style="list-style-type: none"> <li>いくつかの商店街では自転車の利用を規制（武蔵小山商店街パルクム等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車に対して感じる危険について、特に高齢者からは「通行禁止区間の自転車の通行（商店街など）」の指摘が多い</li> </ul>	
	4) 自転車乗車中の事故について	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故の死傷者数は、自転車乗車中が最多</li> <li>自転車関与事故が多く発生する箇所が存在</li> </ul>	-	<p><b>交通安全策と合わせた自転車通行環境の形成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車ネットワークの整備・活用が必要</li> <li>交通安全対策の推進が必要</li> </ul>
自転車活用環境	1) 地域特性について	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域によって、道路、土地利用、公共交通サービス等が大きく異なる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段自転車を利用する区民は56%と高く、生活の足として定着</li> <li>コロナ禍で自転車を利用するようになった方も1割程度存在</li> </ul>	<p><b>地域特性に応じた自転車活用方策の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域特性を踏まえた自転車交通の役割、活用方策の検討が必要</li> </ul>
	2) シェアサイクルについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>シェアサイクルは、通勤通学や観光など多様な目的で利用され、鉄道・バスサービスを補完</li> <li>コロナ禍においても、シェアサイクルの利用は増加傾向</li> <li>高齢者のシェアサイクルの利用率、認知度が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺のサイクルポートの整備が遅れている地域では、シェアサイクルの利用が少ない</li> <li>整備が遅れている荏原地区、八潮地区などの不満理由の第1位は「サイクルポートが少ない」</li> <li>若い世代から、「ポートの増設」を望む声が多い</li> </ul>	<p><b>シェアサイクルの利用環境の充実と利用者の拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズの高いエリアにおけるポート密度の増大が必要</li> <li>シェアサイクルの利用方法等の教育・啓蒙等が必要</li> </ul>
	3) 他分野との連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>■観光振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>品川区都市型観光プランでは、「観光推進のための自転車利用環境整備」について記載</li> </ul> </li> <li>■環境対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>品川区環境基本計画では、「環境対策のための自転車利用環境整備」について記載</li> </ul> </li> <li>■健康づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>しながわ健康プラン21では、「健康づくりのための自転車活用」について記載</li> </ul> </li> <li>■商業振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>私事（買物等）での自転車利用も多いエリアが存在</li> </ul> </li> <li>■防災 <ul style="list-style-type: none"> <li>区は、災害時におけるシェアサイクルの使用等に関する協定をシェアサイクル事業者と締結（H30）</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子育て支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>未就学児童がいる方の74%は普段自転車を利用。理由の半数以上は「子供を乗せて移動しやすいから」</li> <li>電動アシスト自転車の利用割合は63%と高い</li> <li>今後実施すべき自転車施策として、未就学児童がいる方の43%が「チャイルドシート付自転車も止めやすいよう、駐輪スペースの改善」と回答</li> </ul> </li> <li>■高齢者の移動支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者で普段自転車を利用する割合は半数を超え、80代以上でも3割程度存在</li> <li>高齢者の電動アシスト自転車の利用割合は3割以上</li> </ul> </li> <li>■商業振興 <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の主な利用目的は「身の回りの買物」（48%）が最多</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>観光等他分野と連携した自転車の活用策の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光振興、商店街振興、環境対策、健康づくり、子育て支援、高齢者の移動支援、防災等のための自転車活用方策の検討が必要</li> <li>他分野と連携した自転車ネットワークの周知・活用の促進が必要</li> </ul>
	4) 公共交通との連携について	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通不便地域対策が進行（コミュニティバス「しなバス」の試行運行）</li> <li>地域公共交通としてシェアサイクルを充実</li> </ul>	-	<p><b>自転車を含めた区内交通サービスの充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シェアサイクルと公共交通の連携強化が必要</li> </ul>